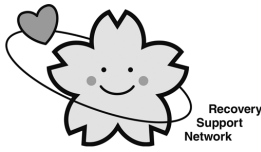


ぱちんこ依存問題相談機関 認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク  
ぱちんこ依存問題相談機関からのメッセージ



# さくら通信

94号

さくら通信とは… 小さなつぼみに過ぎない私たちの活動が、桜前線のように南の島沖縄から日本中に回復支援の輪となって広がり、これらを必要とする人たちに届くことを願って名づけました。

あっという間に一月が終わり、避寒桜も花びらを風に散らして、南国の短い春は一気に駆け抜けようとしています。年末の相談件数の減少と年始のわずかな休みで一息ついた相談員も、再び増え始めた相談の対応に大忙しです。12月末で締めた電話相談の年間データを、相談員が集計し、年次報告書をまとめる作業も始まっています。図表作表から印刷原稿のPDF版作成まで印刷・製本以外の全ての作業をRSNの通常業務と兼任してスタッフはこなしていきます。3月末には製本し、4月上旬には関係機関、ご希望の方々の手元に届けることができるように突貫作業が続いています。相談データをまとめ、解析すると、毎年新たな発見があります。3千件という相談件数から見えてくるものもあれば、開設以来のデータの積み重ねやパチンコやパチンコユーザーの動向を継続的に観察し続けてきたことでようやく見えてきたこともあります。パチンコはその参加人数の多さと日常娯楽ゆえに多様な因子が行動習慣形成に影響を与え、その行動が与える影響も多岐にわたります。そのため、問題の全容、問題ユーザーの全体像を把握することは容易ではありません。パチンコそのものが持つ娯楽性さえ、商業的展開の中で刻々と変化し続けて、パチンコの定義すら明確にすることが難しくなっています。それでも、土耕さずして実りなしですので、私たちのこの小さな集積が、これからののめり込み問題対策の一助となることを願い、毎年報告書の作成を頑張っています。

## CONTENTS

- P1.....RSN News
- P2.....RSN月次データ報告
- P3.....特集:ギャンブリング問題のとりえ方
- P4.....情報掲示板

## RSN News

### 【活動報告】

#### パチンコ・パチスロ産業21世紀会 賀詞交歓会出席(2015/1/21)

2015年1月21日に第一ホテル東京にて開催されたパチンコ・パチスロ産業21世紀会賀詞交歓会に西村代表が出席しました。賀詞交歓会において、パチンコ・パチスロ産業21世紀会を代表して全日遊連阿部恭久理事長よりパチンコの過度ののめり込み対策を前面に押し出した「安心娯楽宣言」が発表されました。遊技業界ののめり込み対策自主ガイドライン作成にRSNも協力しており、遊技業界の対策が実際に効果を発揮するものとなるように尽力したいと思っています。

#### 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会(PCSA)にて講演(2015/1/31)

2015年1月31日に開催されたPCSA法律問題研究会(東京)にて、西村代表が「パチンコとのめり込み(依存)の問題」と題した約1時間の講演と質疑応答を行いました。

### 【寄付・献金のお礼】

株式会社ガイア(本社東京都 荒井晃広代表取締役)様より、当法人の活動に対してご寄付いただきました。頂戴したご寄付は、RSNの活動の発展のため大切に活用致します。貴重なご寄付をありがとうございました。

### 【2月活動予定】

- ワーカーズホーム主催「依存の問題を持つ方を支援するセミナー」にてスーパーバイズ(2015/2/5)
- 全国遊技機商業協同組合連合会(全商協)視察来所(2015/2/5)
- (株)ビジョンサーチ平田浩司様 視察来所(2015/2/16)
- 沖縄県車内放置事故検証委員会出席(2015/2/19)

### RSNに届いた寄贈品(1月1日～1月31日)

パチンコ業界誌、全国のギャンブリング、薬物、アルコール問題の相互援助グループ・回復支援施設42カ所からニューズレター・出版物が届きました。ありがとうございました。

ぱちんこ依存の相談は **050-3541-6420** 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

※さくら通信は、「AJOSC」「夢屋基金」の助成、会費、寄付金などにより発行・配布を行っています。

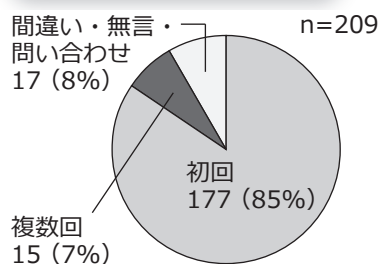
## 2015年1月の電話相談のデータ報告

1月の相談件数は、209件でした。前月比では11件増加しましたが、2014年1月と比べると65件の減少となりました。相談件数はパチンコホールの稼働と関連することも多く、寒波や大雪など天候の影響も考えられます。また、1月には全国紙にいわゆる「ギャンブル依存症」の記事が掲載されましたが、電話相談への影響は家族からの相談が若干増加した程度に収まりました。RSNが普段紹介している相談機関や当事者活動の情報が記載されていたこともあり、他の相談先の情報が社会的に浸透していることもRSNの相談件数の減少につながっているかもしれません。開設からの総件数は、2015年1月末に15,000件を突破しました。

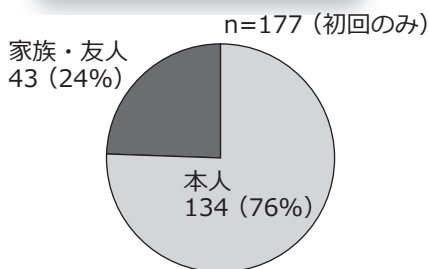
2015年1月1日～2015年1月31日 相談件数 209件

2015年1月1日～2015年1月31日 2015年累計 209件 開設からの総件数(2006年4月～) 15,013件

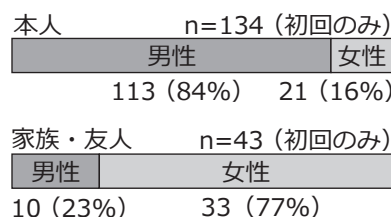
### ① 相談回数



### ② コーラー関係性



### ③ 性別

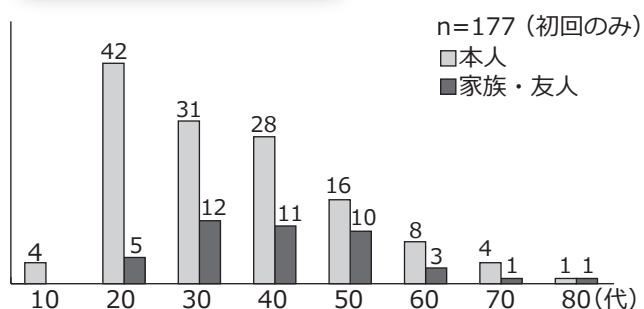


①相談回数…初回相談は177件(85%、前月比+27件)、複数回15件(7%、前月比-7件)、間違い・無言・問合せ17件(8%、-9件)でした。間違い・無言・問合せが20件を下回ったのは2012年8月以来です。

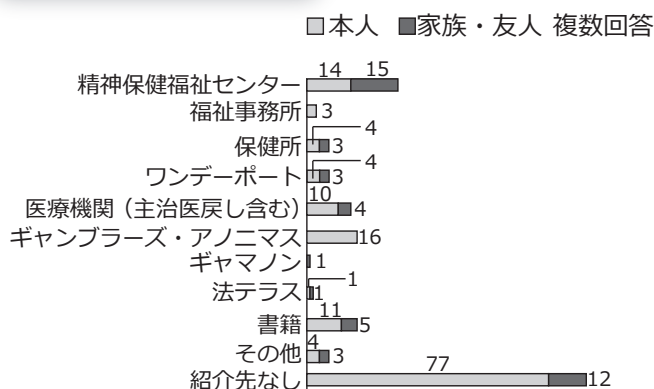
②コーラー関係性…初回相談の内訳は、本人134件(76%、前月比+12件)、家族・友人43件(24%、+15件)でした。家族・友人が増加した理由として、全国紙に「ギャンブル依存症」の記事が掲載された影響が挙げられます。

③性別…本人性別の内訳は、男性113件(84%、前月比+17件)、女性21件(16%、-5件)、家族・友人性別は、男性10件(23%、+5件)、女性33件(77%、+10件)でした。本人女性の件数の少なさが目立ちます。

### ④ コーラーの年齢



### ⑤ 紹介先



### ⑥ 経路

n=177 (初回のみ)

	本人	家族・友人	合計
ホール内ポスター	59	7	66
新聞	1	0	1
インターネット	42	21	63
雑誌	6	1	7
他の相談機関	1	1	2
ホール貼付ステッカー	2	0	2
その他	18	9	27
不明・拒否	5	4	9
<b>総計</b>	<b>134</b>	<b>43</b>	<b>177</b>

④コーラー年齢…本人からの相談では、20代からの相談が最も多く寄せられました。また50代以上の相談件数の増加(今月合計29件、前月比+16件)も目立ちます。昨年同月に類似する分布となりました。

⑤紹介先…「適度に遊ぶにはどうしたらいいか？」という相談では、起因する問題や遊技するメリットについて確認し、頻度や金額の目安を一緒に考えます。

⑥経路…その他27件のうち、ホール配付ティッシュ経由が7件、ホール関係者からの紹介が3件、ホール折り込みチラシ経由が2件でした。ホールの取り組みが広がっていることを感じます。

## ギャンブル問題のとらえ方

リハビリサポート・ネットワークには年間3,000件を超える相談が寄せられます。本人、家族・友人はもとより親戚や会社の上司まで、相談される方の立場は様々です。電話相談という限られたなかでの業務ではありますが、この限られたなかでどのような視点で問題をとらえているか紹介致します。

相談をお受けしていると“依存症”という言葉をよく耳にします。詳しくお話を聞きすると、その多くは依存症という病気に罹患してしまったから問題が発生していると解釈されておられるようです。病気という言葉のイメージから医療機関で医師が治療(やめさせてくれる)という思いを強く抱いている相談者も少なくありません。特にメディアなどで“依存症は病気です”という医療をベースにした特集が組まれた後には多くの方が反応され、このような治療の情報を求めて相談される方が増加します。精神科医療におけるギャンブル問題の位置付けはどのようになっているのか、RSNの相談員の視点から簡単ではありますが下記にまとめてみました。

### ●DSM-5とは？

DSMとはアメリカ精神医学会(APA)が発行している精神障害の診断・統計マニュアルです。世界保健機関(WHO)の国際疾病分類(ICD)とともに、国際的に広く用いられている診断基準です。DSM-5では「ギャンブル障害」の診断基準として9項目の機能障害を提示し、該当項目数により軽度(4～5)・中等度(6～7)・重度(8～9)に分けています。依存症であるかないかという線引きではなく、問題がある可能性が評価されています。

### ●「ギャンブル障害」の診断基準(9項目の機能障害)とは… (注:「賭博」は日本精神神経学会の訳)

- ①興奮を得たいがために、賭け金の額を増やして賭博をする要求
- ②賭博をするのを中断したり、または中止したりすると落ち着かなくなる、またはいらだつ
- ③賭博をするのを制限する、減らす、または中止するなどの努力を繰り返し成功しなかったことがある
- ④しばしば賭博に心を奪われている
- ⑤苦痛の気分(例:無気力、罪悪感、不安、抑うつ)のときに、賭博をすることが多い
- ⑥賭博で金をすった後、別の日にそれを取り戻しに帰ってくる人が多い(失った金を“深追いする”)
- ⑦賭博へののめり込みを隠すために、嘘をつく
- ⑧賭博のために、重要な人間関係、仕事、教育、または職業上の機会を危険にさらし、または失ったことがある
- ⑨賭博によって引き起こされた絶望的な経済状況を免れるために、他人にお金を出してくれるよう頼む

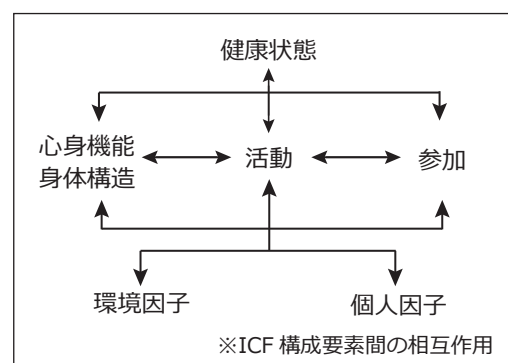
### ●相談員として…



DSMの診断基準では「その障害は、臨床的に意味のある苦痛、または社会的、職業的、または他の重要な領域における機能の障害を引き起こしている」ことがポイントになります。生物(生命)レベルに限らず、個人(生活)レベル、社会(人生)レベルの機能障害も項目に挙げ、生活機能全体で評価する点が特徴です。重要なのは、診断名を付けることや診断名をもらうこと、あるいは病気かどうかを線引きすることではありません。この機能障害をどのように改善していくのかが大切なのです。そのためには支援する側が、より深く問題を抱えた人を知る必要があります。機能障害の背景にある隠れた問題を含め、生活全般を把握することが重要です。ギャンブル問題に限った問題ではありませんが、いかにギャンブルをやめさせるかという視点にとらわれ、問題が収束した後の生活が安定しないケースが多く存在します。

### ●DSM-5とICFを参考にした包括的な視点

ICF(国際生活機能分類)は、1980年に制定されたICIDH(国際障害分類)の改訂版です。2001年のWHO総会において改定され、人間と環境との相互作用を基本的な枠組みとして、ひとの健康状態を系統的に分類するモデルです。ICIDHの考え方では、社会的不利(生活しにくさなど)は、本人に疾病・障害があることが原因で発生するという一方向のものでした。例えば、「依存症が原因でパチンコに心を奪われ、コントロールを失った結果、離婚する」という考え方です。これに反してICFは一方向の直線的な考え方ではなく、人間と環境との相互作用を基本的な枠組みとし、より多角的に広範囲な視点で捉え、ひとの健康状態を系統的に分類するモデルです。狭くなりがちな支援から、包括的な支援へと変えていくにはとても良いツールです。ぜひ依存問題にも活用してみてください(詳しくは、厚生労働省HPをご覧ください)。



## 情報掲示板

### 家族教室 / 相談

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
宮崎県	依存症専門診療相談	毎月第1・3月曜日	午後	宮崎県精神保健福祉センター	0985-27-5663
	ギャンブル依存症者の家族のつどい	毎月第1木曜日	13:30～15:30		
熊本県	依存症家族ミーティング	毎月第3金曜日	13:30～15:30	熊本県精神保健福祉センター	096-386-1166
佐賀県	ギャンブル依存症・家族教室	毎月第4火曜日	14:00～16:00	佐賀県精神保健福祉センター	0952-73-5060
長崎県	家族教室・家族のつどい	要問合せ		長崎こども・女性・障害者支援センター	095-846-5115
山口県	ギャンブル依存症の家族相談	まずは電話相談をご利用下さい		山口県精神保健福祉センター	0835-27-3388
鳥取県	ギャンブル依存症やその対応についての相談	月～金	8:30～17:15	鳥取県立精神保健福祉センター	0857-21-3031
島根県	病的ギャンプリング相談	要問合せ		島根県立心と体の相談センター	0852-21-2885
愛媛県	依存症に関する相談	月～金	8:30～17:15	愛媛県心と体の健康センター	089-911-3880
高知県	家族支援プログラム	毎月第1月曜日	要問合せ	高知県立精神保健福祉センター	088-821-4966
滋賀県	アディクションセミナー	奇数月第3木曜日	13:30～16:30	滋賀県立精神保健福祉センター	077-567-5010
	家族交流会	偶数月第3月曜日	10:00～12:00		
三重県	依存症問題家族教室	偶数月の金曜日	14:00～16:00	三重県こころの健康センター	059-223-5243
福井県	依存症を考えるセミナー	毎月第1水曜日	10:00～12:00	福井県精神保健福祉センター	0776-24-5135
石川県	依存症教室	要問合せ	10:00～12:00	石川県こころの健康センター	076-238-5750
長野県	依存症家族グループミーティング	毎月第2・4木曜日	13:30～15:30	長野県精神保健福祉センター	026-227-1810
神奈川県	家族個別相談	毎週金曜日/要予約	10:30～15:00	認定NPO法人ワンデーポート	045-303-2621
	依存症電話相談	毎週月曜日	13:30～16:30	神奈川県精神保健福祉センター	045-821-6937
	薬物・ギャンブル問題家族セミナー	毎月第4火曜日	14:00～16:00	川崎市精神保健福祉センター	044-201-3242
東京都	家族教室	第1火曜日及び第3・4火曜日	13:00～15:00	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	042-371-5560
	アルコール・ギャンブル依存症問題でお困りの方へ	毎回金曜日	10:00～12:00	東京都立中部総合精神保健福祉センター	03-3302-7711
	ギャンブル家族教育プログラム	毎月第3金曜日	14:00～16:00	雷門メンタルクリニック	03-5828-3841
埼玉県	ギャンブル依存症の相談	月～金	9:00～17:00	さいたま市こころの健康センター	048-851-5665
山形県	依存症相談会	3月18日(水)	要予約	山形県精神保健福祉センター	023-624-1217
北海道	ギャンブル研究会	毎月第2・4火曜日	18:30～20:00	北海道立精神保健福祉センター	011-864-7000

### セミナー等

都道府県	名称	日程	時間	主催	問合せ先
沖縄県	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会in沖縄	要問合せ	10:00～12:00	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(沖縄勉強会)	098-871-9671 (RSN)
	参加費 500円 事前申し込み必要(依存の問題を持つ本人と家族は参加できません)				
神奈川県	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(横浜勉強会)	3月1日(日)	13:30～16:00	依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会(横浜勉強会)	048-796-7630 浦和まはろ相談室
	参加費 1,000円 事前申し込み必要(依存の問題を持つ本人と家族向けではありません)				

ぱちんこ依存問題で困っていませんか? ☎050-3541-6420 月～金 10時～16時(土日祝祭日除く)

さくら通信 第94号 月刊 2015年2月19日発行

発行所:認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原103ルボワYARA2F

電話&FAX: 098-871-9671(事務専用回線) Email: recovery-support-net@theia.ocn.ne.jp http://rsn-sakura.jp

お問い合わせや確認のお電話は、事務用回線をお使い下さい。